

PDCAチェックシート

実施年度	令和 6 年度			
事務事業名	福祉バス運行事業		担当課名	福祉課
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 高齢者（70歳以上）、障がい者等の福祉の向上を図るため、定期路線乗合バスの運賃の一部を助成する。 ■成果指標（アウトカム・KPI）※ 【目標値】 前年度対比で、福祉バス利用者数等の増 ○令和5年度福祉バス利用者数 17,176人 【達成値（R6実績値）】 ○令和6年度福祉バス利用者数 14,856人		■具体的取組 令和6年度より新たに路線の一部運休することに伴い、運行沿線の病院や商店、運転免許センター等45カ所チラシを掲示した。また、免許証自主返納支援事業申請時や障害者手帳の新規交付時にチラシを交付したり、県が発行しているガイドブックや市広報紙、HP等で周知を行った。 事業費等 委託料 6,240千円 ■アウトプット（数量等） 実施回数等 福祉バス資格者証交付者数 95名	■成果指標の具体的検証結果 （インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載） 令和6年度について、福祉バスを利用する際に必要な福祉バス資格者証の交付については、令和5年度に比べ若干申請者が増加している。 また、福祉バス利用者数は、令和5年度に比べ86%と利用者数は減少している。	■検証結果を受けての具体的対応 新型コロナウイルス感染症が拡大を始めた令和2年度から、福祉バスの利用者が減少し続けている状況である。 事業所や関係課とも協議をした結果、契約内容の見直しを行い、一般財源の支出を減らすことができた。路線の一部運休や土日祝日の運休になったことが主な利用者数減少の要因かと推測される。今後も福祉バス利用者人数が増えるよう、広く周知に努めるほか、チラシ等が掲示可能な場所を探し周知を行うなど、多くの方に利用していただけるよう創意工夫を図っていく。 ■評価 現状維持